

H30年度の取組状況【益田市地域医療対策室】H31.3.31現在

支える

【救急医療】

○益田市休日応急診療事業 患者実績 H30：1,379名
H29：1,657名、H28：1,454名、H27：1,370名、H26：1,618名、
H25：1,596名、H24：1,522名、H23：1,551名、H22：1,407名、H21：1,994名

○ますだ健康ダイヤル24（健康医療電話相談24時間無料）

相談実績 H30：2,371件、H29：2,843件、H28：2,348件、H27：2,456件、H26：2,446件、
H25：2,703件、H24：2,424件、H23：1,928件、H22：1,557件、H21：2,064件

【周産期医療】（周産期とは妊娠22週から生後満7日未満）

○周産期医療維持・継続等支援事業

10,000円×前年度の分娩件数を益田赤十字病院に助成

○産科医等確保（分娩手当）支援事業

分娩1件当たり10,000円を産科医に支給（市補助1/3）

○里帰り出産者に対する子育て支援情報の配布（H27年度～）

【地域医療】

○病院勤務医師支援事業（7/18）

継続10年を迎える医師1名に感謝状と特産品を贈呈

○公的病院に対する財政支援

○医療関係者との意見交換（益田市地域医療連携会議）

・3病院の医療従事者と市内開業医、市民の会や議会、行政、連携
（6/1実施 48名参加）



H30.7.18 病院勤務医師支援事業



H30.6.1 地域医療連携会議

招く

【医師を益田市へ】

○赴任医師歓迎事業（4/19、6/1、7/18、9/18実施 14名）

赴任医師に市内観光施設利用チケット及び温泉利用券を贈呈

○市出身医師への医師情報収集及び市からの情報発信の実施

○大学医学部訪問（島根大学）

○市出身医師との面会（10/3）

○実習生受入事業 保健師実習生を1泊2日ホームステイ受入（10/12実施 3名）



H30.4.19 赴任医師歓迎事業

学ぶ

○シンポジウム「みんなで知って、みんなで守ろう！益田の医療」開催

益田の医療を守る市民の会主催（6/2）

○しまね地域医療支援センターとの情報交換会

○地域医療講演会「郷土の偉人 秦佐八郎博士を語る」（5/26）

○しまね地域医療支援センタートップセミナー参加（6/26）

○「地域医療フォーラム2018」へ参加（9/16）

○「地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム」参加（12/1、2）

○島根の地域医療シンポジウム in うんなんへ参加（11/23）



H30.6.2 シンポジウム

連携

○「益田の医療を守る市民の会」の活動支援・連携

○益田市議会 福祉環境委員会

○益田圏域医療担当者会議（津和野町、吉賀町、益田保健所）

○益田赤十字病院「医療従事者確保対策委員会」の活動連携

○地域医療を守る街頭活動の実施

「看護の日」市民啓発活動（5/8）「救急の日」市民啓発活動（9/11）

○自治体等視察受入

（栃木県那須塩原市議会 8/6、長崎県西海市議会 11/6）



H30.5.8 看護の日

H30.9.11 救急の日

「医療・健康に関心のある市民の広がりを支援します」「次世代の人材育成を支援します」

育む

【医学生・看護学生】

○島根大学医学部医学科地域枠推薦入試への市長推薦

島根県の地域医療に貢献したい強い意志を持った学生を市長推薦（医師8名の誕生）
入学状況（6年生1人、5年生1人、3年生3人、2年生2人、1年生3人）

○秦佐八郎（はた・さはちろう）博士顕彰医学生奨学金貸付制度（H18年度～）

市内の地域医療を担う医師確保のため医学生へ奨学金貸与月額5万円

市内の医療機関への勤務により返還免除 貸付状況（H30年度10人：島大、広大）

○石見高等看護学院地域推薦入学への市長推薦（H19年度～）

・卒業後市内で就業することを確約する学生を市長推薦

入学状況H19以降52名（在校生3年生5人、2年生5人、1年生5人）

地域推薦入学者卒業生37名全員が、卒業後市内病院で勤務

○医学生、看護学生との意見交流会（H22年度～）

・広島大学医学生（4年生）が市長表敬訪問（8/9）

・島根大学医学部入学者との意見交換（10/3実施 医学生7名・医師4名参加）

・石見高等看護学院地域入学生との意見交換（8/23）

・益田市出身の島根大学医学生面談

・医学生・石見高等看護学院生の入学・就職激励会



H30.10.3

島大医学生との意見交換会



H30.8.9

広大医学生市長表敬訪問

【中学生・小学生】

○中学生地域医療現場体験事業（H22年度～）

松ヶ丘病院、益田赤十字病院（8/21）で実施

○石見高等看護学生と地域の子どものふれあい活動事業（H21年度～）

看護学生（3年生）が市内の小中学校で実施（12/10、11、13）

○先輩から後輩へ伝え、学ぶ授業（H23年度～）

現役医師による母校での授業

○益田市地域医療教育推進事業（H27年度～）

・「産んでくれてありがとう」教室

・「命の授業」、「命の楽習」

・「1/2成人式」

・「歯を大切にしよう」教室

・性や命に関する指導

・薬物乱用防止教室

・介護や命に携わる仕事にふれよう

・医療関係図書等による調べ学習

・医療現場における医療現場体験学習

・「子どもとメディア」講演会

・秦博士記念館見学

・心の教育教室

・島根県立石見高等看護学院見学 など



H30.12.11

看護学生と子どもとのふれあい活動



産んでくれてありがとう教室

要望

○県知事要望 綺羅星会

○県健康福祉部長に対し、益田圏域医師確保に関する要望活動

○大学・病院へ医師確保に向けて要望活動（島根大学医学部訪問 10/3）

○益田地区広域市町村圏事務組合による医療体制確保（島根大学医学部産科婦人科教室との受託研究（23年度～）

みんなで医療を支える益田市をめざして・・・